



2020年12月25日 第851号



発行部
関西学院大学新聞 総部
〒662-0891
西宮市上ヶ原一番町1-155
関西学院大学新学生会館3F
電話：(0798) 51-1181
E-mail: info@kgpress.jp
HP: http://www.kgpress.jp
Twitter: @kg_shinbun

学生支援 100円昼食

「COCOA」提示で

関西学院大学は1日、新型コロナウイルスの影響で経済的に苦しい学生を支援しようと生協の売店や食堂で食事を100円で提供する取り組みを始めた。同大学の学生や高等部、中学部の生徒を対象で、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」を提示すると利用できる。

西宮上ヶ原キャンパスの生協売店では3種類の丼や弁当を用意した。生協食堂では日替わり定食「サンキューセット」やカレー、麺類が対象になる。期間は12月1日から23日までだが、予算が無くなり次第終了する。

井や弁当 格安提供

アルバイトの収入が減った学生を支援しようと、後援会が予算を用意した。「COCOA」の使用を学生に促すほか、利用が減り経営が厳しい生協を支援する狙いもある。開始から4日間で西宮上ヶ原キャンパスの生協食堂では全利用者の約7割に当たる3140人が利用した。生協食堂の責任者、佐々木満部長(58)は「予想以上に好評で、100円のメニューが全て売り切れないよう、メニューを途中で変えるなど工夫している」と話す。



日替わり定食「サンキューセット」も100円で提供されている。15日、西宮上ヶ原キャンパスの生協食堂ビックババ、平田憲太郎撮影

関学生協 赤字計上

関西学院大学生生活協同組合(関学生協)は10月23日、今年度末の決算が過去最大の2億2千万円の単年度赤字となる見通しを発表した。新型コロナウイルスの感染を防止するため、キャンパスへの入構や対面授業の実施が大きく制限され、店舗の利用者も大きく減ったことが響いた。関学生協の池上正寿専務理事は「登校したら生協を利用して助けてほしい」と訴えた。

コロナで利用者激減

関西学院大学生生活協同組合(関学生協)は10月23日、今年度末の決算が過去最大の2億2千万円の単年度赤字となる見通しを発表した。新型コロナウイルスの感染を防止するため、キャンパスへの入構や対面授業の実施が大きく制限され、店舗の利用者も大きく減ったことが響いた。関学生協の池上正寿専務理事は「登校したら生協を利用して助けてほしい」と訴えた。

制限した春学期はほとんど営業できない状態が続いた。秋学期が始まった9月23日に入構制限は解除されたが、現在も利用者は例年の約2割にとどまっている。課外活動が再開し、学生が戻ってくると予想していたが利用者は少ないままだという。関学生協は、事業経費の削減や職員への休業指示のほか、店舗の改装といった新規投資の見送りなどの対策を取っている。損失が出ないように店に並べる商品の数を調整し、現在も時間

学生団体が困窮学生に食材配布
関西学院大学の寮生からなる学生団体「繋がり隊」などは10月19日、西宮市の上ヶ原市民館で食材を無償配布した。



2面

甲子園ボウル 関学3連覇
甲子園ボウルで関東代表・日大との一戦に勝利し、学生代表として3年連続のライスボウル出場を決めたファイターズのこれまでの戦いを振り返る。



6面

障害者と防災 避難支援 福祉と防災の連携を図る
兵庫県では、福祉と防災の連携を図り、地域住民を巻き込んだ個別計画作りのモデル事業を2018年度から丹波篠山市と播磨町で始めた。

3面

「自分のおいしい見つけて」関学OG小竹貴子さん レシピ本刊行

4面

原則対面授業 来年度から

関西学院大学は11月20日、来年度の授業を原則対面で行うと発表した。基礎疾患のある学生や来日が困難な留学生はオンラインで受講できる。対面授業に向けた具体的な感染防止策は今後、調整を進めるとしている。

同大学は秋学期開始と同時に、来年度の授業について協議を始めた。オンライン授業に対する学生や保護者、教職員の声と文部科学省の対応など社会情勢を総合的に判断し決定した。

課長は「学生はキャンパスに来て学んでほしい。(キャンパスで)人との出会いを通じて、人生の財産を築いてほしい」と話した。

同大学は今年度、原則オンラインで授業を行っている。秋学期にキャンパスへの入構制限を解除し、一部の科目で対面での授業を再開したが、全体の3割程度にとどまっている。(難波千聖)

クリスマスツリー点灯 25日まで



関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスで11月30日、恒例のクリスマスツリーの点灯式が開かれた。新型コロナウイルスの影響で規模を縮小して開催。静寂の中に、時計台前のヒマラヤスギが鮮やかに浮かび上がった=写真。25日まで毎日、午後4時半から午後9時まで点灯される。(柴崎辰徳)

Izumi Syuppan
パンフレット、記念誌、報告書
制作・編集、デザイン

和泉出版印刷株式会社

【本社】
〒540-0026 大阪府中央区本町1-1-6 本町カノヤビル
TEL: 06-6946-1073(代) FAX: 06-6946-7684
E-mail: info@izumi-syuppan.co.jp

【和泉営業所】
〒594-0083 和泉市池上町4丁目2番21号
TEL: 0725-45-2360(代) FAX: 0725-45-6398

多くの大学の部活動やサークルが、引退時期を3年の冬としている。まもなく始まる就職活動に専念するためだ。しかし、この慣例が変わる日も近いかもしれない。本紙を発行する関西学院大学新聞総部の部員も、3年の12月に引退する。ただ、部員の1人は既に内定を得て、就職活動を終えている。現行の就活ルールは、説明会など広報活動を3年の3月以降、面接など選考活動は4年の6月以降、正式な内定を10月以降と定められている。ただ、3年の夏からインターンシップと称した選考活動は始まっており、ルールは守られていない。ルール破りの弊害は多い。特に3年は、専門科目が充実し、部活動も引退を控え、多忙を極める。部員は「オンライン授業で例年より課題が多く、既に単位取得を諦めた科目もある」と嘆く。政府や経団連は新卒一括採用を見直し、通年採用を目指している。ただ、企業が決められたルールを守らないようでは本末転倒だ。大学生が限られた4年間を有意義に過ごすためには、ルール通りに採用活動が行われる必要がある。訳の分からないうちに始まって、気が付いたら終わっているような就活では4年間の学生生活の見通しが立たない。



困窮学生に食材配布

寮生が関学生支援

新型コロナウイルスの影響で経済的に苦しむ学生を助けようと、関西学院大学の寮生からなる学生団体「繋がり隊」などは10月19日、西宮市の上ヶ原市民館で食材を無償配布した。予定を上回る345人が会場を訪れ、食材を受け取った。

この日、会場には無洗米2キロやサバの缶詰、レトルトカレー、コンスープが用意された。午後2時にオープンすると、続々と学生が集まった。学生スタッフが学生証を確認して食材を手渡した。

支援のきっかけは、西宮市社会福祉協議会が同大の学生寮に食材を寄付した際に学生の声を聞いたこと。同協議会で社会福祉社の中川俊亮さんは「協議会へ相談に来る学生と、寮で困っていると答える学生の数にギャップを感じた」という。協議会の呼び掛けに寮生らは応じ「繋がり隊」を発足させた。この日に向けて、協議会やコープこうべと

準備をした。繋がり隊の古森日奈子さん（教育学部4年）は「今は関学生中心の活動だが、今後は西宮市内の他大学の学生とも活動をした」と話した。



感染症対策をしながら食材配布する学生団体のメンバー＝10月19日、西宮市の上ヶ原市民館で

多様性の尊重訴え

同性カップル講演

同性婚の法制化について理解を深めてもらう講演会が10月8日、オンラインであった。法制化を求めている同性カップルの「多様性を尊重してほしい」という訴えに関西学院大学の学生など146人が耳を傾けた。

講師は香川県三豊市のアーティスト田中昭全あきよしさん（43）が務め、同性パートナーの川田有希さん（35）もゲストスピーカーとして参加した。2人は同性婚を認めない民法や戸籍法の規定は違憲だとして、大阪地裁に提訴したほか、性的マイノリティーに関する講演や啓発活動をしている。

講演で2人は同性婚の法制化を求める理由として、2人の関係を法的に保障するものが無いことを挙げた。病院での付き添いや手術の同意を断

られるなど、相手に何かあった時に、問題が生じる可能性があるという指摘。遺産相続でも配偶者ではないので、減税を受けられないという。田中さんはLGBTの友人が身近に居ない学生に対して「たまたま出会っていないだけ、まずはLGBTについて知り、多様性を尊重してほしい」と呼び掛けた。

講演会を主催した関西学院大学人権教育研究部の澤田有希子准教授は「性の多様性」について人間福祉学部以外の学生に啓発できていないことが課題だったとして「今年度は研究室のホームページを活用してLGBTについて多くの人に知ってもらうことを心掛けたという。（吉永美咲）

初のオンライン新月祭開幕

新型コロナウイルスの影響で初のオンライン開催となった関西学院大学の大学祭「新月祭」の第2弾が11月8日に開幕した。学生が歌や手品を披露するコンテンツや、お笑い芸人の漫才などを動画で配信した。

10月の第1弾では、集客に課題が残った。終了後、キャンパスや阪急バス車内にポスターを掲示し、大学周辺の家庭にはチラシを配った。卒業生のロックバンドのライブは約3千人が視聴した。実行委員会の作本育海・広報局長（経済学部2年）は「収録したものを配信したので、出演者と一緒に見て楽しめるライブになった」と振り返る。

学生が歌や手品を披露するコンテンツでは6組の学生が出演し、実力を競った。ギターの弾き語りも披露し優勝した余星さん（18）は「自宅で聴



お笑いライブの生配信を確認する実行委員＝11月7日、西宮上ヶ原キャンパスの中央講堂

大学 JALと連携協定締結

関西学院大学は10月16日、日本航空（JAL）と連携協定を結んだと発表した。総合政策学部は、JALが航空事業で培った「おもてなし」などのノウハウを学ぶ授業や、航空産業のビジネスを学ぶ授業を来年度から開講する。

同学部によると、以前からJALと教員が個別に連携する例はあった。大学は協定を結ぶことで、共同授業の実施以外にも幅広く連携することを模索している。

同大学は、6月にアウトドア用品大手のスノーピークと包括連携協定を、9月には国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）とインターシッピング協定を結んでいる。（柴崎辰徳）

有志の教職員

電子ギフト券で1年生支援

関西学院大学の有志の教職員7人が、同大学の1年生に電子ギフト券を配るキャンペーンを始めた。有志が大学内の教職員から寄付を募り、集まった金額に応じて応募者全員を支援する。

7人は以前から自主的に大学教育に関する勉強会を開き、集まっていた。新型コロナウィルスが流行し「関学に関わる者としての心意気、思いを学生に届けたい」と支援活動を始めた。入学から大学

へ来られず、最もコロナの影響を受けたとして、対象は1年生に絞った。感染リスクを抑えるため、電子ギフト券を配布する。

有志の1人、教育学部の江原昭博准教授（54）によると、大学や後援会ではなく、有志の教職員が寄付を呼び掛ける例は全国でも珍しいという。有志の活動に対して、教職員の間で理解や支持が広がり、約100人から300万円以上の寄付が集まっている。



製作したポスターを手にする有志の教職員＝11月20日、西宮上ヶ原キャンパス

江原准教授は「プロジェクトを通して、スクールモットーのマスター・フォア・サービス（奉仕のための練達の輪を広げたい）」と呼び掛けた。（林 昂太）

県漁連 魚介類を無償提供

食生活から学生を支援しようと、兵庫県漁業協同組合連合会（県漁連）は県内の大学生協に県産のシラスやタコダイなどの魚介類を無償提供した。

関西学院大学の生協食堂は11月2日から6日まで、提供された魚介類を使った日替わり丼を250円（税込）で販売した。

同大学では、価格は米や食堂の従業員の人員費のみで安く抑えた。期間中、約1260食を提供。人気があった黒鯛天ぷら丼は用意した402食が売り切れた。作

キャンペーンには、11月26日時点で1700人以上の学生が応募している。応募欄には、教職員へのメッセージ記入欄があり、7割以上の学生から「力をもらった」、「より関学が好きになった」などの言葉が寄せられている。国

際連携機構の八木寛人さん（35）は「自由記入にもかかわらず、多くのコメントが来て驚いた。感謝のメッセージを読んで涙がこぼれた」と話した。

吹奏楽部 定期演奏会開催

関西学院大学応援団総務吹奏楽部の定期演奏会が11月27日、兵庫県立芸術文化センター（西宮市）であった。新型コロナウイルスの影響で、演奏会は相次いで中止になり、吹奏楽部にとって今年度の演奏会であった。

▼5面IIコナで試行錯誤 演奏した「宇宙の音楽」は、2013年に全国大会で演奏

指導部の西上幸作課長代理（46）は「困っている学生を支援できてうれしい。今後もある支援はしていきたい」と話した。（難波千聖）

例年は、休憩を挟んだ約3時間の演奏会だったが、今年は1時間半に縮めた。客席は前後左右の間隔を空け、2千人規模の会場で587人の入場にとどめた。（坂田愛奈）

「ユーフォニアム協奏曲」では、ユーフォニアム奏者の外園祥一郎さんを招き演奏した。今年の春に予定していたが中止となったコラボが実現した。演奏終了後、総合政策学部4年の白銀里佳子部長は「思うように練習できない日々が続く悔しい思いもあったが、無事に演奏会を開けて良かった」と涙ぐんだ。

難しい曲だが、挑戦という思いを込めて選んだという。ユーフォニアム協奏曲（2）は、ユーフォニアム奏者の外園祥一郎さんを招き演奏した。今年度の春に予定していたが中止となったコラボが実現した。演奏終了後、総合政策学部4年の白銀里佳子部長は「思うように練習できない日々が続く悔しい思いもあったが、無事に演奏会を開けて良かった」と涙ぐんだ。

日進月歩

自分の情報セキュリティ見直そう

新型コロナウイルスは、私たちの日常を変えた。人に会いたくても会えない、外に出たくても出られない時もある。今まで対面で行ってきたことが、オンラインでも可能だと分かったことで、テレワークを導入する企業が増加した。

2000年以降、日本は国を挙げてテレワークの導入と浸透を図ってきたが、思うように進んでいなかった。そんな矢先、コロナの影響で働き方が見直される中で業務のオンライン化の必要性が高まり、テレワークの導入が増加している。

導入率の増加に伴い、テレワークを狙った不正アクセス被害も増えている。日本経済新聞によると、国内38社が不正アクセスを受け、テレワークに使うシステムのIDやパスワードが流出したという。こうした被害からも分かるように、絶対に安全な情報セキュリティシステムは存在しない。しかし、被害を最小にする「2段階認証」を導入している。

この設定をしていれば、第三者にログインIDとパスワードを盗まれても、大学サーバーから送られる確認コードを入力しなければログインできないため、学生の個人情報漏れを防止できる。

同機構の河井俊一課長は「学生の設定は任意だが、個人情報を守るためにもぜひ設定してほしい」と呼びかけている。オンライン授業を受けているこの機会に、自身の情報セキュリティを見直すべし。

関西学生サッカーリーグは13日、延期となっていた後期第3節が万博記念競技場（大阪府吹田市）であり、関西学院大は阪南大に4-2で勝利した。全日程を消化し、順位は5位。全国大会出場を懸け、関西地区の第5代表を決めるトーナメント戦に出場することになった。

勝利への執念が光った。前半39分、阪南大に先制を許したが、すぐに追い付いた。アディショナルタイム2分、コーナーキックのこぼれ球を

解し合えることが伝わっている」と話した。

今年10月に市内の2自治体が自主的に避難訓練を実施した。「コロナ禍でも行政の押し付けではなく住民に広がってほしい」（松本副課長）

今後の課題は、要支援者と地域住民への丁寧な研修と迅速な計画作りの両立だという。多くの自治体で計画作りが進められるよう、映像を使うなど方法を検討している。

「4回生を絶対にまだ終わらせたくなかった。4年生のGK稲垣佳祐は「まだまだ育ててくれた恩師や両親に恩返しできていない。全国大会のベスト4へ行けば観客が入る。絶対に行ってプレーで感謝を表現したい」と話した。（林 昂汰）

FW木村勇大の逆転ゴール後、喜びの輪にベンチメンバーも加わった。13日、大阪府吹田市の万博記念競技場、榎園菜月撮影

避難支援 福祉と防災の連携図る 兵庫県

災害に備え、障害者や高齢者の避難方法を事前に決めておく「個別計画」。兵庫県では、福祉と防災の連携を図り、地域住民を巻き込んだ個別計画作りのモデル事業を2018年度から丹波篠山市（当時・篠山市）と播磨町で始めた。昨年度には県内41市町のうち36市町に取り組みを広げている。

相互理解深め地域づくりへ 丹波篠山市

モデル事業では▼ケアマネジャーらの災害対応力の向上▼地域住民らの障害特性などに応じた避難支援の研修▼要支援者本人の「自助力」や支援者の人数など地域の支援力の評価▼要支援者や住民らが集まった調整会議で計画の作成▼計画に沿った避難訓練の実施と計画の見直し——を行

りにつなげることを目的に事業を進めた。

要支援者には、迷惑を掛けるという理由で災害時に助けを求めない人が多いという。自らの障害を地域の人に打ち明けることへの負担も大きい。

市は、要支援者と日頃から深く関わっているケアマネジャーらに協力を求め、時間を掛けて要支援者と話した。

丹波篠山市役所保健福祉部長 長寿福祉課の松本ゆかり副課長（56）は「災害が起きた時

訓練後、支援者や住民から「参加して良かった」という声が多く聞かれるという。松本副課長は「要支援者には支えてくれる人がいることが伝わり、（地域住民には）理

県は今年度から全市町を対象に予算を組み、事業を拡大している。ケアマネジャーら福祉専門職が個別計画を作った場合、1件につき7千円の報酬を支払う。18年6月時点で69%だった作成率は今年6月時点で10.4%に増えた。

播磨町では、モデル事業以降、個別計画作りが進んでいない。いかに福祉専門職の負担を少なくした計画作りを地域に広げられるかが課題だという。

モデル事業で播磨町と地域

障害者と防災

4

「ささやま見守り台帳」を基にした。要支援者と住民が中心となり、支援の方法を考えた。

「難波千聖」としている。（難波千聖）

丹波篠山市では、県が示したモデル事業の流れに沿いながら、要支援者と地域住民が互いの理解を深め、地域づく

を掛けて要支援者と話した。

「4回生を絶対にまだ終わらせたくなかった。4年生のGK稲垣佳祐は「まだまだ育ててくれた恩師や両親に恩返しできていない。全国大会のベスト4へ行けば観客が入る。絶対に行ってプレーで感謝を表現したい」と話した。（林 昂汰）

FW木村勇大の逆転ゴール後、喜びの輪にベンチメンバーも加わった。13日、大阪府吹田市の万博記念競技場、榎園菜月撮影



学校法人

兵庫県自動車学校

普通車・準中型

TEL:0798-67-2200

兵庫県自動車学校

関学生協サービスカウンターにてお申込み下さい。



ちょっとした丸暗記で外食レベルのごはんになる

小竹貴子〈著〉

日経BPマーケティング 1500円(税別)

「自分のおいしい見つけて」

著者の小竹貴子さん(48)は、関西学院大学社会学部OG。クックパッドの初期メンバーとして設立に携わり、現在もクックパッド社で勤務している。

が見た瞬間に味が分かるものにしていく」と語った。小竹さんは、レシピが無くても料理できる教科書のようなものを作りたい、という思いから本書を出版した。「一つの料理の形を覚えて、自分のおいしいを見つけてほしい」と話す。

「料理ができることは、これから男女両者にとって生きる上での大事なスキルになるし、家での娯楽にもなる」と小竹さん。学生に対しては「神戸、西宮は食材も豊富なので、料理を楽しんでほしい」と話した。



(林 昂太)

教授の背中

「京都で音楽がしたい」。愛知県から京都の大学を受験し、同志社大学に入学した。2年生までは音楽活動に没頭。バンドでギターとボーカルを担当し、作詞もした。

たのは、大学3年生の時だった。「文学とは何か」を追究する当時のゼミの先生に影響され、文学の魅力に取りつかれた。表現するという点で音楽と文学は共通していた。

文学の世界に足を踏み入れた。大学院で2人目の恩師に出会った。「学問の専門性を嫌う先生だった。あらゆる方向から文学を考えるきっかけを与えてくれた」と振り返る。

卒業後も研究を続けたいという思いが強くなり、関西学院大学にやってきた。文学の魅力は、私たちが予想もしない場所に連れて行ってくれることだという。言葉に巻き込まれて、自分の見ている世界が変わることや自分の立ち位置が揺らぐ経験を大事にしている。「つらいし、叫び出したいこともあるけれど、自分が変わっていく楽しさがある」と話す。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

来年の春学期は半育休を取るといふ。ゼミを中心に大学で授業をするのは週2回になる。9月に2人目の子供が生まれ、育児をしたいと思ったという。子供がいることで、ペースや目線を合わせることで、自身も女子学生が多い関学の文学部に男性の教授ばかりがいることに疑問を感じ、ジェンダー論に関心を持った。「院生の頃は関心が無かったが、ジェンダーについて考えなければならぬと思った」と話す。

専門は日本近代文学で、坂口安吾の研究に力を入れている。常識や秩序が壊れた戦後の日本で、言葉で世界を変えようともがいた人物だとい



文学部 准教授 福岡 弘彬

「今は人とのつながりが問われている時だと感じている」と話す。危機の時代と言われているが、今を新たな未来への分岐点だと捉えることもできる。「自分を追い詰めるすぎず、やり過ぎながらも考えることをやめないでほしい」とエールを送った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

大学3年で文学の世界へ 自分が揺らぐ経験を大切に

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

おすすめのお店探し隊! Vol.27 「グロアール」

「ありがと、また来てね。」11日、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスに、クレープ販売のキッチンカーが出店。笑顔で学生にクレープを渡す店主の野村猛さん(67)。「写真右」の声に、クレープを作る妻の清美さん(55)の声も重なった。

夫婦でキッチンカー 出会い大切に25年

「あれがどう、また来てね。」11日、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスに、クレープ販売のキッチンカーが出店。笑顔で学生にクレープを渡す店主の野村猛さん(67)。「写真右」の声に、クレープを作る妻の清美さん(55)の声も重なった。



(重山千穂)

元ニュースキャスター 村尾教授がパネルトーク

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。

「言葉は捨てず、安吾自身に染み付いた規範や常識を必死で剥がそうとしている。その過程を文章にしていることに引かれた」と語った。



無敗優勝の立役者 水 渉夢 投手 (人間福祉学部1年)

力強い投球を見せる水渉夢投手=わかさスタジアム京都、同部提供

新型コロナウイルスの影響で、8月頃までキャッチボール練習が禁止になった。投手にとってキャッチボールの禁止は致命的であったが、自粛期間中は実際の投球を行わず、タオルを振ることで投球動作だけを繰り返すシャドー

「1年生だから思い切り投げてこい」。先輩らの言葉が、1年生ながら初出場試合で先発を任された関西学院大学準硬式野球部1年水渉夢投手を励ました。

リーグ戦優勝の準硬式野球部

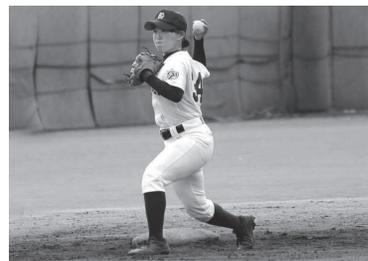
準硬式野球部は、前年度の関西六大学準硬式野球秋季リーグ戦では最下位だった。しかし今年度の秋季リーグ戦では、無敗で優勝を勝ち取った。水投手は最優秀投手、最多勝利投手、新人賞、ベストナインという個人成績を取

り、準硬式野球部優勝の立役者となった。

3月下旬までのオフシーズンが終わると、全国大会につながる春季リーグ戦が始まる。「試合から分かった自分の課題をこの期間中に改善して、より上のレベルで戦える投手になりたい」と水投手は力強く語った。(一宮麗果)

この学生に
注目!
チューモク!

リーグ初出場女子選手 山本 涼香 内野手 (文学部3年)



練習に励む山本涼香投手=関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス第2フィールド、同部提供

関西学院大学準硬式野球部山本涼香内野手が、10月21日に鳴尾浜臨海野球場(西宮市)で行われた関西六大学準硬式野球秋季リーグ戦に、史上初の女子選手として出場した。山本内野手は、来年から活動を始める阪神タイガース運営の女子硬式野球クラブチーム「阪神タイガース Women (ウイメン)」のメンバーに選ばれている。

山本内野手は高校で硬式野球部に所属していたが、大学でも選手として野球を続ける意思は無かった。しかし大学入学後、準硬式野球部のマネージャー見学時に、先輩から「やって見たら？」と選手としての入部を勧められたことで、史上初の女子選手として準硬式野

球部への入部を決意した。「男女の違いを言い訳にせず、練習に励んできた」。山本内野手はプレー中、持久力やパワーといった男女差を感じながらも、自身の負けん気の強さを武器に、レベル上げに努めている。

タイムスリップ

目には見えない絆や愛情を写真で表現

「一枚の写真に目には見えない絆や愛情を表現する」。西宮神社近くの写真館「いぬづか写真室」(西宮市社家町)社長の犬塚雅晴さん(59)が、写真IIが写真を振り続ける意味だ。

犬塚さんは1980年、関西学院大学経済学部に入学生し、体育会陸上ホッケー部で汗を流した。同年度の友人らが就職活動をする頃、犬塚さん



写真家 犬塚 雅晴 さん (’84年 経済学部卒)

犬塚さんは、フレームの外にある親子や家族の関係を感ぜられる写真の撮影を心掛けてきた。犬塚さんは、実力を世界中の人々が認め、優れた写真家に贈られる全米プロ写真家協会(PPA)の「マスター・オブ・フォトグラ

「一枚の写真に目には見えない絆や愛情を表現する」。西宮神社近くの写真館「いぬづか写真室」(西宮市社家町)社長の犬塚雅晴さん(59)が、写真IIが写真を振り続ける意味だ。

犬塚さんは1980年、関西学院大学経済学部に入学生し、体育会陸上ホッケー部で汗を流した。同年度の友人らが就職活動をする頃、犬塚さん

親子の絆を感じれば、今地球上で起きている全ての問題が解決する」と語るのを目にした。犬塚さんがそのことを実感したのは、97年にタイガー・ウッズが男子ゴルフのメジャー大会「マスターズ・トーナメント」で優勝し、父親と抱擁を交わしたシーン。親子の絆には世界中の人々を感動させる力があると感じ、父親から受け継いだ写真家という仕事で、親子や家族の絆を表現する写真を撮ることに意味を見いだした。

犬塚さんは学生に向けて「関学の校章は三日月だが、丸い月が光の当たり方で欠けて見えているだけ。光が当たっていない部分に秘めている可能性を表に出せるよう、努力を続けてほしい」とメッセージを送った。(川本暖乃)

- いぬづか まさはる
- 1984年 関西学院大学経済学部を卒業
 - 1986年 東京工芸大学短期大学部写真技術科を首席で卒業
 - 1986年 椎木泰行氏に師事
 - 1991年 株式会社いぬづか写真室入社
 - 1997年 1級写真技能士資格取得
 - 1999年 代表取締役社長 就任

部室 だより

応援団総部 吹奏楽部

「思うように活動できない」コロナ禍で試行錯誤

普段通りの活動ができないのにお金はいつもより掛かる。関西学院大学応援団総部吹奏楽部は新型コロナウイルスの影響で3月から活動を自粛。10月末に練習を再開し、11月末の定期演奏会で今年初舞台を迎えた。開催に当たっては例年にならぬ苦勞を強いられた。

同部は、応援団の吹奏楽部として、様々な応援の場で演奏をする一方、コンクールに出場するなど、単独での演奏活動もしている。演奏するジャンルもポップスやジャズなど様々。学校の式典や同窓会、地域の小学校で演奏を披露することもある。

しかし、大学の要請を受けて3月から練習を自粛。自宅での個人練習やオンラインでの音楽知識の勉強など、工夫して活動した。白銀里佳子部長(総合政策学部4年)は「家で練習できない部員もいた。モチベーションを保つのが難しかった」と振り返る。

対面での練習を再開した10月末から、定期演奏会までの練習時間は例年の3分の1だった。楽器用マスクを着け、間隔を空けて練習した。距離を取った練習では、音の時差が生じ、演奏がずれるという困難があった。「聞こえる音に惑わされず指揮者を見て演奏を合わせるのが大変だった」(白銀部長)。

感染対策のため、楽器用のマスクを着けて定期演奏会のリハーサルに臨む吹奏楽部員=11月27日、兵庫県立芸術文化センター、柴原誠撮影



関学アメフト「勝つべくして勝つチームを」悲願の日本一

今年、ファイターズは「勝つべくして勝つチームを目指す」を目標とし、日本一を目指した。しかし、新型コロナウイルスの影響で思うように練習ができない時期があった。練習不足による不安はあったものの、関西学生リーグで立命館大に勝利し優勝。甲子園ボウルで宿敵の日本大を倒し、悲願の学生日本一を果たした。(柴崎辰徳)

3年連続

ライスボウルへ

大村和輝監督の初陣

関西学生リーグ1部トーナメント1回戦は同志社大に快勝。名将・鳥内秀晃前監督(62)から今季、監督を引き継いだ大村和輝新監督(49)の初陣を飾った。

試合開始直後、キックオフをリターンしたRB三宅昂輝(4年)が90ヤードを走りそのままTDを決めて先制。流れに乗った関学大はRB前田公昭(3年)が2度のTD、RB三宅も再びTDを決めるなど、6本のTDを決め、前半で41得点を挙げた。

メンバーを大きく入れ替えた後半は、前半のように連携がさえることなく失速。第3Qに7失点、第4Qに6失点と課題の残る内容になるも、前半のリードを維持し今季初戦を白星で飾った。

主将として初めて試合に臨んだRB鶴留輝斗(4年)はこの日の試合を「個人技は良かったが全体としての完成度は低い」と振り返った。

第2Q、怒濤の28得点
続く神戸大との準決勝は、

関学3連覇 甲子園ボウル



対神戸大戦の第2Q、QB奥野からのパスをエンドゾーンでワンハンドキャッチし、TDを決めたWR梅津一馬(中央)。11月8日、神戸市灘区の王子スタジアム、柴原誠撮影

前半で試合の鍵を握った。関学大は第1QにRB前田のTDで先制。神戸大がパントから繰り出したスペシャルプレーを、LB川崎駿平(4年)がタックルで止め、幸先の良いスタートを切った。

第2Qに試合が大きく動いた。神戸大のロングリターンに苦しめられる場面があったが、RB前田が2本目のTD。残り5秒でQB奥野耕世(4年)のパスをWR梅津一馬(2年)がエンドゾーンでワンハンドキャッチしTDを決めるなどの好プレーも見せ、第2Qだけで28得点を挙げた。

後半は両者が競り合っただけで無得点となり、関学大が決勝開始直後、TDを許すも、第

試合結果	
対同志社大	55-13 (10月18日・王子スタジアム)
対神戸大	35-14 (11月8日・王子スタジアム)
対立命館大	16-14 (11月28日・万博記念競技場)
対日本大	42-24 (12月13日・阪神甲子園球場)

3Qと第4QにそれぞれFGを決め1点差に迫る。試合終了3秒前にキッカー永田祥太郎(3年)がFGを決め逆転優勝を勝ち取った。

永田は最後のFGについて「点差や状況は関係ない。いつも通りにやった」と淡々と振り返った。

関学大唯一のTDを決めたWR鈴木海斗(4年)は甲子園ボウルに向けて「最高の準備をして、最高のパフォーマンスを観客に見せたい」と意気込んだ。

大村監督は日大を「色々あったけど、切磋琢磨し合った関係」とし「関学らしいプレーを突き詰めていきたい」と意気込んだ。鶴留主将は「関学は2017年の甲子園ボウルで日大に負けた。リベンジを果たしたい」と日大への思いを熱く語った。

宿敵・日大戦 3年越しのリベンジ果たす

日大との甲子園ボウルでの顔合わせは3年前に敗れて以降初めてとなった。関学は日大に勝利し、甲子園ボウル3連覇を達成した。

第1Q、日大のキックオフをRB三宅が自陣15ヤードから敵陣21ヤードまでリターン。そのまま勢いに乗ってWR梅津が先制TDを決めた。しかし、流れは続かず、日大に2本のT



日大に3年越しのリベンジを果たしたロフイーを掲げる(左から)三宅昂輝、海崎悠、繁治亮依、鶴留輝斗、高木慶太、川崎駿平、奥野耕世=13日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場、柴原誠撮影

関学は学生代表として3年連続のライスボウル出場となる。

勢いに乗った関学は、後半に21得点を挙げた。第4Qに日大が必死の抵抗を見せるも、RB三宅の今日3本目となる駄目押しTDが決まり勝利した。

関学の大村監督は「今日はオフエンスが持っている実力を発揮できた」と勝利に胸をなで下ろした。QB奥野は「最終学年として学生日本一になれたのは素直にうれしい」と語った。

関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

● 取得できる車種 ●

- 大型車・中型車・準中型車・普通車(AT/MT)・
- 大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



SANDA AUTOMOBIL SCHOOL 兵庫県公安委員会指定

SAS 三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995

E-mail:sas.1963@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com

